

最低賃金改正のお知らせ

令和6年10月1日から

時間額1,162円

神奈川県労働局賃金室から最低賃金改正についてのお知らせがありました。

神奈川県最低賃金は、県内の事業場で働く常用・臨時・パート・アルバイト等の雇用形態や呼称の如何を問わず、すべての労働者とその使用者に適用されます。

賃金引上げに活用できる「業務改善助成金」について

業務改善助成金は「事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）」の引上げを図る中小企業・小規模事業者を支援する助成金です。神奈川県働き方改革推進支援センター（下記）にお問い合わせください。

さらに！厚生労働省は中小企業庁と連携し、最低賃金の引き上げにより影響を受ける中小企業に対する支援を実施しています。「最低賃金・賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援施策紹介マニュアル」（全文または概略版）がダウンロードできます。

◆神奈川県働き方改革推進支援センター◆

横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル 12F

電話 0120-910-090

受付時間 平日9:00～17:00



産業保健フォーラム開催

令和時代の産業保健

～女性が生き生き働ける職場づくり～

日時 10月25日（金）13:10～17:00

場所 横浜市開港記念会館 1階講堂

対象 事業主、衛生管理者、産業保健看護職、産業医、労務管理・安全衛生担当者等

定員 400名 **無料**

特別講演

これからの時代の健康管理のあり方

独立行政法人労働者健康安全機構顧問ほか 有賀 徹氏

基調講演

働く女性の生涯を通じた健康課題とその支援

独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院

産婦人科働く女性専門外来担当 星野寛美氏

パネルディスカッション

働く女性の健康支援で必要なこと

参加申込方法

ホームページからのみ、お申込みのみ受付となります。
※定員に達し次第、申込みを締め切りとなります。



化学物質管理者講習開講します

化学物質管理者選任時の講習を10月30日（水）に県建設会館にて開催します。なお、今回の講習に関しては、建災防のテキストはまだ使用できません、申込は支部ホームページからお願いします。

全国大会期間中の支部事務局

創立60周年の全国大会期間 10月3日～4日は支部事務局は3時までです。なお、分会事務局についてはホームページをご確認ください。

支部行事予定

創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会

時：10月3日～4日
所：東京ビッグサイトほか

編集委員会

時：10月10日 14:30
所：建設会館411会議室

正副運営委員長・部会長会議

時：10月10日 15:00
所：建設会館411会議室

正副支部長・分会長会議

時：10月15日 15:00
所：建設会館411会議室

運営委員・分会事務局合同会議

時：10月24日 15:00
所：建設会館講堂

第59回神奈川県建設業労働災害防止大会

時：11月7日 14:30（開場14:00）
所：横浜市西公会堂

第2回理事会

時：12月2日 15:00
所：建設会館講堂

技能講習部内監査（仮）

時：12月11日 15:30
所：建設会館専務室

建災防神奈川支部ニュース

No.579 令和6年10月号

建設業労働災害防止協会 神奈川支部

横浜市中区太田町2-22番地 電話045-201-8456 FAX045-201-7735

URL <https://kensaiboukanagawa.com/>

神奈川労働局との合同パトロールを実施

全国労働衛生週間(10月1日から10月7日まで)を迎えるに当たり、建設現場における粉じん障害防止を始めとする各種労働災害防止対策を推進、徹底する趣旨で、9月18日、神奈川労働局並びに横浜南労働基準監督署と建災防神奈川支部の合同で横浜市中区元町～新山下で施工中のみなとみらい21線車両留置場建設工事（土木工事）の

現場のパトロールを実施しました。神奈川労働局からは池内労働基準部長、畑野健康課長、関川安全専門官、林労働衛生専門官、長谷川監督官、管轄の横浜南労働基準監督署からは千葉署長、阿部監督官が、神奈川支部からは黒田支部長が参加し、ずい道の肌落ち災害防止対策や粉じんマスクの着用などの取り組みを確認しました。



同工事は、元町・中華街駅の終点側の地下に、トンネル形式の車両留置場を整備するため、総延長約589mのトンネルを構築するもので、2030年度の供用を目指しています。パトロールにあたって、工事概要や概況などの説明を受けた後、施工を担当する鹿島・東亜・奈良特定建設工事共同企業体の所長らとともに現場内を視察しました。

同現場は、周辺環境に配慮しながらきめ細かく現場管理が行えるよう、元請社員は2交代のシフト制を採用するなどの工夫をしています。また、作業現場においてデジタルサイネージを3台設置、坑内位置情報システムの採用など数々の生産性向上、残業規制に対する取り組みとして新技術・ICTツールを取り入れています。

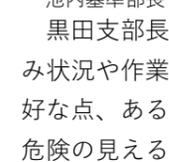


デジタルサイネージ

講評に当たって、池内労働基準部長からはじん肺の有所見者の実態を踏まえ、粉じん対策にかかる最近の法改正や総合対策について紹介され、引き続き粉じん障害防止の継続の要請がありました。

黒田支部長からは、ICTなどの取り組み状況や作業場内における安全管理が良好な点、あるいはセーフティリボンなど危険の見える化の対策がしっかりとられている点に触れ、神奈川県下において本年目立つ若年層などの死亡重大災害の撲滅の取り組みについて要請がされました。

最後に千葉横浜南署長からは熱中症や作業従事者の高齢化による災害が増加傾向にあるので、今後も継続的管理をお願いしたいと結ばれました。



池内基準部長



黒田支部長

死亡災害防止のための取組の徹底について（緊急要請）

神奈川県下において、クレーン作業に関する災害が多発していることから、9月27日、神奈川県労働局池内労働基準部長名で神奈川支部をはじめクレーン作業にかかる関係災害防止団体が集められ、緊急要請が行われました。内容は以下のとおりです。

建設業労働災害防止協会 神奈川支部長 殿



神奈川労働局労働基準部長

日頃から労働災害の防止につきまして

御尽力いただいておりますこと、また、

第14次労働災害防止計画（神奈川計

画）の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年8月末現在の神奈川県内における労働災害の発生状況において、**死亡災害が7月に3件、8月には5件発生**しており、6月末まで計10件であったところ、この**2か月でほぼ倍増**の18件となる異常な事態であります。14次防神奈川計画の本年目標（死亡災害26人以下にする）の達成が危ぶまれる極めて憂慮すべき事態となっております。

特に、**クレーン作業に係る死亡災害が8月に3件発生**しており、由々しき事態となっております。

つきましては、県内の死亡災害発生状況を鑑み、死亡災害防止のための取組の徹底、特に**クレーン災害の防止を強化**する必要があることから、関係団体のみなさまにおかれましては、会員事業場等と協力し、下記の基本遵守事項の徹底が図られますよう、緊急要請いたします。

記

基本遵守事項

1. **作業計画**はリスクアセスメントの結果に基づき策定し、現場における遵守を徹底すること。
2. ワイヤロープ、クランプ、フック等の**玉掛用具**・つ

り具については**作業開始前点検**を励行し、限度を超える伸びや外れ止めの故障など不具合があった場合は確実に補修、交換等を行うこと。

3. クレーンの運転は、法定**資格者**に行わせることは当然であるが、運転能力向上のための教育を定期的実施すること。

また、玉掛け作業の指揮は、有資格者かつ十分な経験を持つ者に行わせること。さらに荷崩れなどがないように確実に玉掛けを行わせること。

4. 「**つり荷の下**に入らないだけでなく、つり荷の進行方向への立ち入り禁止」を徹底すること。

5. 過荷重や強風等によりジブが折損したりワイヤロープが切断したりすることを確実に防止すること。

6. クレーンが活線に接近することによる感電を確実に防止すること。このため近接する活線がある場合には電力会社に事前に対応などについて相談すること。

7. 特に**移動式クレーン作業**（トラッククレーン、ラフタークレーン、クローラクレーン等）においては、当該

場所の状況に応じた敷き鉄板の敷設、アウトリガーの最大張り出しの徹底等も含めた作業計画を定め、移動式クレーンの転倒等による災害防止を徹底すること（8月に転倒事故が発生しています）。



◆特定自主検査セミナー（高所作業車の安全）◆

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会神奈川県支部の主催でセミナーが開催されます。

今回のテーマは高所作業車の安全です。

日時 11月1日（金）14：00～16：30

場所 神奈川県中小企業共済会館

横浜市中区北仲通3-33

定員 70名 **無料**

講演

災害発生時の対応について

横浜市中消防署 総務・予防課

人と機械の協調安全を用いた高所作業車の安全性向上（昨年の全国大会発表・顕彰作品）

大和ハウス工業(株)安全部

◆上昇中の挟まれ災害が多い垂直昇降式高所作業車への安全を研究◆協調安全の考え方を適用し、災害発生リスクの低減を目指す
参加申込方法

右のQRコードによりアクセスしてセミナーの申込書をダウンロードしての申込み（先着70名まで）



☆建設業における署別労働災害発生状況☆（休業4日以上）

神奈川労働局 令和6年8月末現在

年	署												
	横浜南	鶴見	川崎南	川崎北	横須賀	横浜北	平塚	藤沢	小田原	厚木	相模原	横浜西	合計
本年	34	15	34	33	40	47	35	25	22	40	38	51	414
	(1)				(1)	(1)						(1)	(4)
前年	39	20	28	40	23	66	43	41	21	34	29	45	429
	(1)		(1)	(2)		(3)		(2)				(2)	(11)

（注）労働者死傷病報告による、（ ）内は死亡者数である。コロナ感染によるものを除いている。

☆死亡災害発生状況☆

神奈川労働局 令和6年9月24日現在

業種	死亡災害把握数			死亡災害件数		
	年 (令和6年)	前年同期 (令和5年)	前々年同期 (令和4年)	令和5年	令和4年	令和3年
製造業	4	3 (1)		4 (1)	2	8
建設業	4	13 (1)	6 (1)	16 (1)	9 (1)	21 (2)
交通運輸業						
陸上貨物運送事業	4 (2)	6 (2)	2	9 (3)	6 (1)	2
港湾荷役業		1		1		
商業	3 (2)		5 (1)		6 (2)	3 (2)
清掃・と畜業	1	2	4	3	4	1
その他	2	8 (2)	3 (2)	9 (2)	3 (2)	14 (5)
合計	18 (4)	33 (6)	20 (4)	42 (7)	30 (6)	49 (9)

（注）死亡災害把握数は、本年のみ欄外表示の日までに把握した死亡災害の件数で、（ ）は、事故の型が「交通事故」であるものを内数で表示しています。

☆死亡災害の概要☆

神奈川労働局 令和6年9月24日現在

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模 年齢	起因物 事故の型	発生概要
1	1月 17時頃	その他の建設業 (1次下請) ～9人 25～30歳	化学設備 有害物等との接触	ガス枝管の切断撤去作業中、自身がスコップで掘削した穴に頭を入れ、意識がない状態の被災者を同僚が発見。救急搬送されたが、都市ガスが漏れたことで酸素欠乏による急性心機能障害により死亡した。
2	3月 11時頃	建築工事業 (2次下請) ～9人 20～24歳	足場 墜落、転落	足場の解体作業中、足場の資材を、上から下に受け渡し、作業がひと段落したところで、被災者が持ち場を離れたところ、足場上（高さ約10m）から墜落した。
3	7月 16時頃	土木工事業 (1次下請) ～9人 25～29歳	締めめ用機械 墜落、転落	マンション建設現場で、整地作業をしていたローラー車（約3トン）が約1.8m下の隣地に転落し、運転していた技能実習生の作業員がローラー車の下敷きになった。
4	8月 10時頃	その他の建設業 (3次下請) ～9人 25～29歳	その他の電気設備 感電	別掲載（6頁）

安全指導者、安全指導員合同研修を開催



8月26日、関内ホール小ホールにおいて、建設業労働災害防止協会神奈川支部安全指導者並びに神奈川県木造家屋建築工事等災害防止協議会安全指導員の令和6年度合同研修が開催されました。

出席者は安全指導者100名、安全指導員40名で合計140名でした。この研修会は毎年実施されているものです。



開講に当たって黒田支部長からは最近の建設業での死亡災害が20代前半の若い世代に集中していることを憂慮し、安全指導者等の熟練者による的確な指導が重要であることが呼び掛けられました。

講義内容は、神奈川労働局の関川地方安全専門官「建設業における労働災害の現状と防止対策につい

て」と題して、木造建築工事における墜落転落や移動式クレーンの転倒災害にかかる災害事例を紹介しての災害防止上の注意の説明があり、続いて、林地方労働衛生専門官からは「建設業における化学物質策について」と題して、最近の労働衛生上の留意点や化学物質の自律的管理への移行についての説明がありました。



関川専門官



林専門官

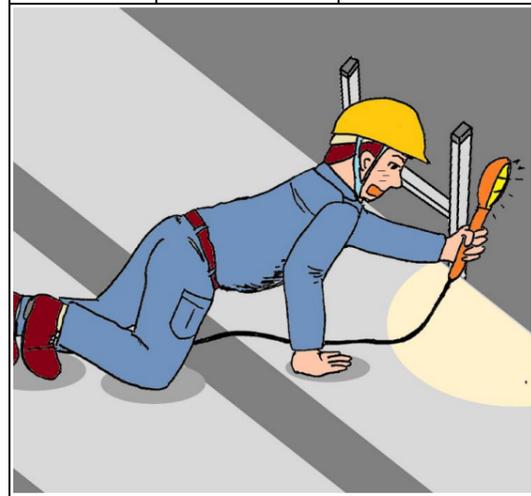
建災防本部の土屋安全管理士からは、建災防の会員が守るべき「建設業労働災害防止規程」が昨年12月に改正されていることから、その改正点についての説明があり、さら平成27年に作成された「墜落防止のための安全設備設置の作業標準マニュアル」を基に、本年3月に改訂された「木造家屋等低層住宅建築工事墜落防止標準マニュアル」について説明され、続いて神奈川支部専任講師である小菅講師から「パトロールにおける着眼点」についての講演がありました。



最後に神奈川県木建協の米田会長から閉講の挨拶として、若者など未熟練者が事故に遭わないよう我々熟練者がしっかり導くよう呼びかけました。

8月に発生した建設業の死亡災害の概要

発生月 発生時刻	業種 発注関係 事業場規模	起因物 事故の型	発生状況 災害防止のポイント
8月 10時頃	その他の建設業 民間 ～9人	その他の電気設備 感電	<p>【発生状況】 生コンプラント内の補修工事において、被災者が投光器を持ち原料貯蔵槽の内部を覗き込んでいたところ、うめき声が上げ、硬直しているような状態となった。 搬送先の病院で死亡が確認され、感電死と判明したもの。 投光器の電源であった延長コードの破損等のため漏電したことにより感電したと考えられる。25～29歳（3次下請）</p> <p>【災害防止のポイント】 1 単なる延長コードではなく、漏電しゃ断器を内蔵したコードリールを使用すること。 2 発汗する場合や、湿った場所、金属製の床上等で移動式電気機械器具を用いる際には、床面にゴム板を敷いて、その上で作業すること。 3 既設のアース線があれば、必ずそれに器具のアース線を接続すること。アース線がない場合には金属製の管等を活用する等してアース線を設け、それに接続すること。また、できるだけ、二重絶縁した電気機械器具を用いること。</p>



第59回神奈川県建設業労働災害防止大会のご案内

11月7日（木）横浜市西公会堂において、第59回の神奈川県建設業労働災害防止大会を開催します。大会の開催内容は下記のとおりです。

～ストップ死亡重大災害！心身を整え、行動前に家族を想おう！～

とき 令和6年11月7日（木）
 14：00 開場 ところ 横浜市西公会堂
 14：30 開会
 表彰式 住所：横浜市西区岡野1-6-41
 講演

入場無料

「安全の基本ルールを守る！建設業の明るい未来に向けて」
 神奈川労働局 労働基準部長 池内 伸好 氏
 「能登半島地震対応における安全支援業務について」
 東急建設(株)東日本土木支店 安全環境部長 沓澤 利明 氏
 「復興の道しるべ」
 東急建設(株)土木事業本部 事業統括部 土木工務部 工務企画G 長井 健作 氏
 ※本年4月30日NHK新プロジェクトXで紹介された工事

17：15 閉会



●最寄の交通機関
 横浜駅西口より 徒歩12分
 相鉄線「平沼橋駅」より 徒歩8分
 バス停「岡野町」より 徒歩4分

●駐車場
 車での来館は遠慮ください。できる限り、公共交通機関をご利用ください。

主催者からお願い

入場は無料ですが、参加を希望する方は下記参加申込票に記載の上、所属する分会事務局へFaxによりお申込みください。※当日会場でも受付けます。

第59回神奈川県建設業労働災害防止大会参加申込票

事業場名：	連絡先電話番号：
御氏名	御氏名
御氏名	御氏名
御氏名	御氏名

創立60周年記念 全国建設業労働災害防止大会in東京で表彰される皆様おめでとうございます。

開催期間

現地開催 令和6年10月3日(木)・4日(金)

オンデマンド配信 令和6年10月7日(月)～11月11日(月)※一部配信なし

本年度の全国大会は、初日は「東京ビッグサイト」、二日目は「東京国際フォーラム」にて現地開催するほか、後日、オンデマンド配信を行います。

初日の総合集会では、労働災害防止活動に顕著な功労・功績のあった安全功労者などの表彰、安全の誓いの採択、講演などを、二日目の専門部会では、会員企業などが取り組み、成果をあげた最新の安全衛生管理活動の発表などを行います。

オンデマンド配信のお申込みには、大会参加券(10,000円)が必要となります。

お手元がない方は、本部または支部で大会参加券をご購入のうえ、お申込みください。

オンデマンド配信の視聴のみご規模の方は、お手数ですが、参加券ご購入後、建災防本部のホームページよりオンライン参加の申込み手続きをお願いします。

安全衛生表彰者名簿(神奈川県)

優良賞(工事現場)

種別	事業所・工事現場名	分会
優良賞 (工事現場)	佐藤工業株式会社 東京支店 (仮称)厚木市上依知物流プロジェクト	横浜南
	株式会社渡辺組 相鉄・東急直通線、新綱島駅新築	横浜南
	風越建設株式会社 ヴェレーナグラン門前仲町新築工事	横浜南
	株式会社大勝 (仮称)クリオ桜木町計画新築工事	横浜北
	株式会社末長組 ロイヤルシーズン桜新町新築工事	川崎北

優良賞(会社)

種別	事業所名	分会
優良賞 (会社)	株式会社水村建設	横浜西
	株式会社ハヤシ建装	横須賀
	相和設備工業株式会社	湘南
	有限会社下田組	小田原

個人

種別	御氏名	事業所名	分会
功労賞	石井 一登	石井建設工業株式会社	鶴見
	石塚 大祐	株式会社石塚土木	川崎南
	佐藤 雅徳	株式会社佐藤工務店	川崎南
	渡辺 貞行	株式会社寺田土木	厚木
	大川 彰久	タイヨー産業株式会社	厚木
功績賞 (委員)	木村 仁一	風越建設株式会社	横浜南
	渡辺 弘一	株式会社白井組	横浜南
	福島 勇守	東電同窓電気株式会社	横浜北
	千田 亮	有限会社千田建設	横浜西
	吉澤 敏行	株式会社吉孝土建	川崎北
	中野 雅之	株式会社菊地土建	湘南
	原 直奈子	株式会社原兼工務店	平塚
	神谷 賢治	有限会社神谷機材	小田原
	入江 功	株式会社入江建設	相模原
功績賞 (安推者)	佐藤 正一	株式会社佐藤工務店	相模原
	山谷 朋彦	株式会社ヤマヤ土建	鶴見
	長島 正志	株式会社新晃産業	横須賀